



私の帯状疱疹のケース

JPHF認定 インナーチャイルドセラピスト NO.593

JPHF認定ファミリーホメオパス NO.257

CHhom 14期 プロフェッショナルホメオパスコース: 2年生

ブルーハウス 三智子

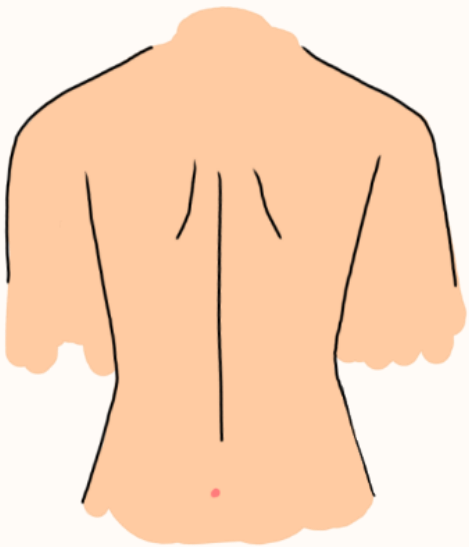
アメリカのアリゾナ州在住 / ナバホ研究家・ホメオパスの卵

Official HP: Three Wisdom

URL: <https://threewisdom.com/ja/>

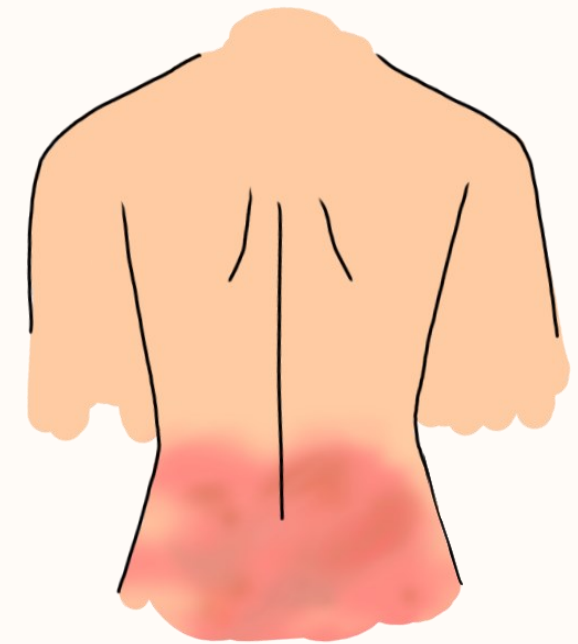
Email: threewisdom9708@gmail.com

発端と症状



虫刺され？

- 強烈な痒み
- 鋭い痛み
- 肌の炎症
- 全身のだるさ、疲労感の蓄積
- グラスファイバーに触れた後のようなチクチク感
- 細かい針で全身を刺されているような感覚
- ずっと続く神経の痛み



带状疱疹と診断



西洋医学による診断と対処法



- 帯状疱疹は、水疱瘡にかかったことのある人がかかる病気
- 水疱瘡菌は体から完全に抜け切れず、体内に潜んで共存
- 高齢になると、水疱瘡菌が活性化されて、帯状疱疹の症状になる
- 対応策は、痛み止めの処方薬
- 予防策は、帯状疱疹の予防接種

タイムライン

2007年7月、アメリカ人と結婚することに両親が激怒 ⇒ 完無視

2008年8月、ビザ申請のための予防接種を接種

風疹 (rubella)、麻疹 (measles)、水疱 (帯状疱疹、varicella)

おたふく (Mumps)、成人用三種混合 (Tdap - 百日咳、破傷風、ジフテリア)

2008年12月、渡米

2009年2月、妊娠。12月、出産

2010年4月から11か月間、無収入生活

2011年2月、帯状疱疹が勃発

5月、義父と大喧嘩

6月、地元の友達と大喧嘩

7月、母と大喧嘩

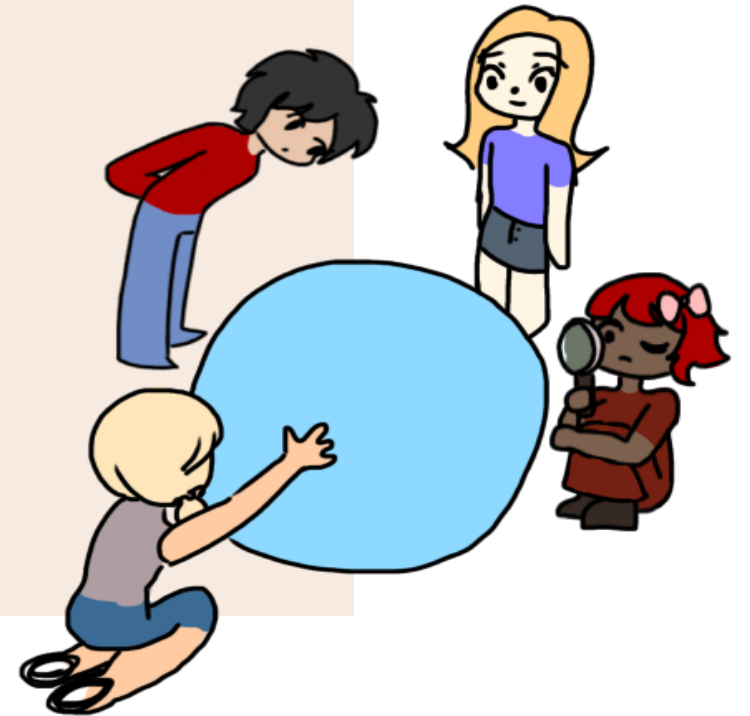
9月、半年間続いた帯状疱疹が収束



多角的な視点による原因分析と対処法

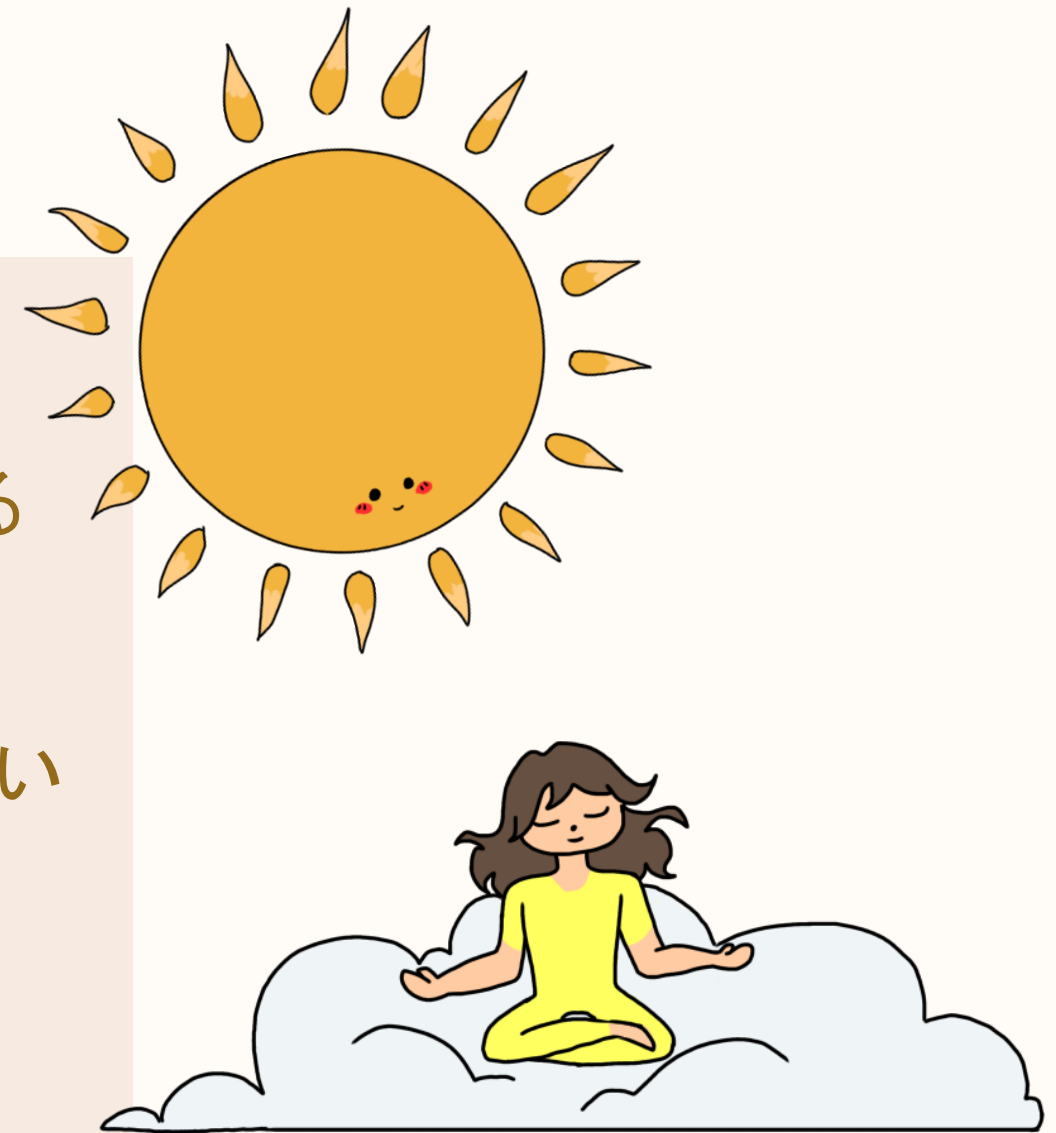
- 渡米直前の予防接種の影響
- 生活環境が大きく変化したことによる体の調整
- 日本での古い私が死んで、アメリカで生まれ直すためのリセット
- 38年間ため込んできた怒りの噴出
- 西洋医学の薬は処方されなかった
- ホメオパシーは直接的には効かなかった

⇒ ただひたすら、体と感情の排出をさせてあげた



多角的な視点のススメ


- 本質は見えない領域に存在する
- ホメオパシーは見えない領域で、本領を発揮する
- 完璧に健康でいる必要はない
- 時々頭痛や痛みは厄落としの役割かもしれない
- 完璧に良い人に見られる必要はない
- 怒っても良い
- 泣いても良い
- 喧嘩しても良い
- ご縁のある方との縁は切れない
- ご縁のある方とは魂レベルで許し合える



あらゆる可能性を
受け入れる



ご清聴ありがとうございました



ホメオパシーのサポートを活用しながら
多角的な視点から分析し、
受け入れよう

学生相談のクライアントさんを
募集中です！